

梅雨に向けての交通事故防止



梅雨時期を控えて交通事故防止対策はお済みですか？



梅雨の時期になると、雨による視界悪化のために「追突事故」「歩行者との衝突事故」の増加や、水たまりでのブレーキ制御不能になる「スリップ事故」などの交通事故が多く発生しています。

自動車運転時のガラス曇り止め対策・タイヤの摩耗状況の点検・ワイパーゴムの点検・自転車利用時の雨合羽の準備・ライトの点灯状況点検・反射材の準備など、梅雨に入る前に事前対策を講じましょう。

歩行者の皆さんへ

雨の日は、雨具で視界や音が遮られ「周囲がよく見えない」「雨音で自動車等の接近が分かにくい」等の障害があり、交通事故の原因にもなっています。

- 道路を横断するときは、周囲を繰り返し確認しましょう。
- 無理な道路横断は避け、横断歩道を利用して渡りましょう。
- 薄暮や夜の外出は、明るい服装で反射材を利用しましょう。



自転車利用の皆さんへ



- 自転車の点検・整備を実施しましょう。
- 傘さし運転は違反です。雨合羽を準備して、雨天時には着用しましょう。
- 薄暗くなる前や夜間にはライトを点灯して、反射材を活用しましょう。
- 急な強雨の際には、自転車の利用を控えましょう。
- 自転車のスピードに注意して、安全に利用しましょう。



ドライバーの皆さんへ

- 降雨時の影響
 - ・ 曇天で薄暗く、雨が降るとさらに視界が悪くなります。
 - ・ 降雨時は窓を閉め切るため、雨音で周囲の音が聞こえにくくなります。
 - ・ 水たまりでのスリップや歩行者への泥はねに注意が必要になります。
 - ・ タイヤの摩耗や空気圧の不足による、ハイドロプレーニング現象が起こります。
- 運転前の車両点検・整備
 - ・ 視界確保のために、劣化したワイパーゴムは交換しましょう。
 - ・ フロントガラスの油膜を取り、撥水加工しましょう。
 - ・ タイヤの溝の深さや空気圧を確認しましょう。
- 運転上の注意
 - ・ スピードは控え、車間距離は長めにとりましょう。
 - ・ 水たまり等でハンドルを取られないように、しっかりとハンドルを持ちましょう。
 - ・ ブレーキは早めに踏んで、後続車の追突防止を図りましょう。
 - ・ 車内の音楽等の音は控えめに、窓を少し開けるなど車外の音が聞こえやすいように工夫しましょう。
- ・ 歩行者・自転車の近くを通過するときは、泥や水をはねないように注意しましょう。



運転前の点検をしっかりと行いましょう！



道路を渡る時は 大人も子供も しっかり合図をしましょう。

雨の日と夕暮れ時の
ライトは

